

Blooming



miho bloom Solo Concert

Artists

- 〈vo〉 miho bloom
- 〈cho〉 堀 桂
- 〈sax〉 栗田 洋輔
- 〈gt〉 田村 太一
- 〈pf〉 杉浦 潤
- 〈bs〉 畠山 令
- 〈dr〉 三夜 陽一郎

2024.10.14^{mon}

開場 14:30 開演 15:00

会場：フェニーチェ堺 小ホール

料金：高校生・一般 5,500円
中学生・卒業生 3,300円
(小学生以下 無料)

コンサートに関するお問い合わせは
MAIL：mihobloom2024@gmail.com

miho bloom Solo Concert

Blooming

Welcome to miho bloom Solo Concert

いつもmiho bloomを心から応援いただき、本当にありがとうございます。

2021年、2023年と2度のホールコンサートを開催して、皆さんから溢れるほどの応援と愛をいただきました。皆さんの応援の温かさを考えると私は本当に幸せなボーカリストだなと胸がいっぱいになります。

コンサートを通して「私のステージを見た人が自身の本当の輝きに気づき花開いていくのを見ること」「私の歌を明日への活力にもらえること」これらが私の幸せだと気付きました。

今回のコンサートでは「人は誰もが自分で幸せになる力を持っている。」

そんなメッセージを伝えられれば良いなと思っています。

これからもmiho bloomの応援をよろしくお願いたします。

miho bloom

Vocalist Profile

miho bloom
Jazz vocal



2005年、中学英語教諭時に喉を傷め、高田修治氏(元マヒナスターズ)よりボイス・トレーニングを受ける。その際「歌うこと」を勧められ、ジャズボーカルの魅力に引き込まれる。以来、地元大阪にてジャズボーカリストとしての活動を開始する。2007年にアメリカのRiverside州立大学に留学。在学中は大学のJazz Ensemble(big band)などでライブやコンサート活動を行うなど、生きた本場の英語を学ぶ。2009年に帰国、大阪にてライブ活動を再開。更に研鑽を積むべくジャズボーカルを宮下博行氏に師事。英語にも精通した表現力と、肉感的なハスキーボイスには定評があり、歌うジャンルはジャズ・ソウル・ポップス等、多岐にわたる。

Artist Profile

堀 桂 // Vocal & Chorus

高徳島県鳴門市生まれ、京都在住。大学にてアメリカ英語の発音音声学を学ぶ。在学中からバンドにてボーカル/英詞中心の作詞を開始。在学中から勢力的に活動。2018年4月には自身初のCDアルバム「Leave Love Behind」を全国リリース。アコースティックユニット



「futarinote(ふたりの一と)」は「第13回LALALAにきたミュージシャンコンテスト」グランプリ・兵庫県知事賞受賞。立て続けに3枚のオリジナルアルバムを全国リリース。また季刊誌「オーディオアクセサリ-180号」にて巻頭4ページのインタビュー記事が掲載・CDサンプラーが付録されたことをきっかけに、オーディオ愛好家からの注目を集めている。

杉浦 潤 // Piano・Key board

幼少期からエレクトーンやエレキギターに触れる。高校生の時に上原ひろみのライブ映像を見て衝撃を受け、ジャズピアニストを志すようになる。2012年秋に神戸大学発達科学部人間表現学科を卒業、在学中にレストランやジャズバーなどでプロ演奏活動を開始。繊細なタッチと豪快なソロ回しを得意とする。音感と採譜能力、楽曲理解力には定評がある。傍らで、個人指導、セッションホストなどを行う。エレクトーン・エレキギターを秋山みどり、ピアノを金奈穂子、宮崎剛、柴田あさみ、竹下清志、エレキベースを荒玉哲郎、ドラムを村上友の各氏に師事。



栗田 洋輔 // Sax

4歳よりエレクトーンを、13歳よりサクスを始める。大学時代にビッグバンド全国コンテストにて2年連続優秀賞を受賞、同時に個人賞を獲得。その後パークリー音楽大学に編入入学と同時にボストン・ニューヨークにて活動を行う。マレーシアにて開催された"Japan Expo"に自身参加のグループ"Vermilion Field"にて出演、同グループ作品がピクチャーよりメジャータイトルとしてリリース、また東京・すみだストリートジャズフェスティバル公式テーマ曲の作曲を担当するなど演奏家・作編曲家として活動している。自ら主宰するジャズ・アメリカ音楽史講座「探検！JAZZの世界」では、TSUTAYA・Universal Music Store・Denso Ten等の協賛により好評を博すなど、ジャズ音楽の啓蒙活動及び後進の育成活動にも注力している。



畠山 令 // Bass

18歳の時にエレクトリックベースを始め、20歳でアコースティックベースに転向パークリー音楽大学に奨学金を得て入学。学生時代より現地アメリカの数々のライブハウスで演奏。2006年から2009年、Rodney Whitakerに師事。卒業後帰国し自己のグループを中心に活動中、2018年1stアルバム"Mosaic Structure"、2021年に2ndアルバム"Crab Nebula"を発売。国内のみならずフランス、ドイツ、ルーマニア、台湾等でも演奏。北村英治、山中千尋、板橋文夫、スガダイロー、Benny Green、John Pizarrelli等著名アーティストとの共演多数。



田村 太一 // Guitar

神戸市出身。13歳でギターに目覚め16〜23歳までをアメリカで過ごす。ロックを中心に活動18歳で本格的にプロを目指す。ランディー・ワイマー氏に師事し、ギターと理論を学びながら様々なジャンルの演奏活動を行う。帰国後、キングレコードからロックバンド「KAYA」のギタリストとしてメジャーデビュー。精力的に活動、リリース曲がTV主題歌に抜擢され、オリコンチャートに上がる。バンド解散後、ジャンルにとらわれない音楽活動を行う。現在も数々のバンドに参加しており、関西を中心にライブハウス・パーティーでの演奏・アーティストのサポートツアー・CDレコーディングなどに参加、実力派ギタリストとして好評を博している。また、ギター・作曲・アレンジ等の個人レッスンやスクール講師としても活躍。



三夜 陽一郎 // Drums

16歳よりドラムを始める。ヤマハ音楽院卒業後プロとして活動開始。金子敏男、御葉袋一男、両氏に師事。以後、国内外問わずライブツアーサポート、レコーディング、ライブ等、その活動は多岐にわたる。2000年レーナマリア氏のサポート。2001年に韓国jazzフェスティバルにてゲスト参加。その後、クイズヘキサゴンのエンディングテーマのシンガー、RYOEI氏のレコーディング及びツアーに参加。また、朝の連続ドラマ小説「てっほん」「カーネーション」のレコーディング参加。また、大平サブロー氏のサポートも行う。また現在は後進の指導にもあたる。



Access

会場：フェニーチェ堺 小ホール
住所：堺市堺区翁橋町2-1-1
<https://www.fenice-sacay.jp/access/>

南海高野線 堺東駅 西出口より徒歩約8分

Ticket

料金：高校生・一般 5,500円
中学生・卒業生 3,300円
(小学生以下 無料)

配信用(当日&見逃し配信)
料金：3,300円

会場チケットの購入はこちら
<https://mihobloom.com>



配信チケットの購入はこちら
<https://mihob-stream.com>

